

No.4
2026

7
July

6月24日発行

参議院議員

福士の“F” Faith in the Future

一緒に青森の未来を創る
地域の声を国の政策へ届ける
課題と向き合い、毎月活動レポートをお届けします。

立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

青森県版号外

立憲民主党 立憲民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル7F
Tel.03-3595-9988/fax.03-3595-9088
立憲民主党 青森県参議院選挙区第2総支部
〒030-0822 青森市中央1-5-1 中央1丁目ビル2F
Tel. 017-718-8512/fax. 017-718-8513

福士ますみ

活動
レポート Report

通常国会後半戦へ 福士、意欲的に質疑に登壇

Report 5/26【経済産業委員会】ナフサ不安の払拭と、産業競争力を青森にも!

政府は「全体としての供給量は確保されている。目詰まり解消に全力を尽くす。」と説明しているナフサ供給の現状について、「現場では必要なものが必要なときに、本当に希望通り手に入るのか?」といった供給体制への不安が渦巻いていることを指摘。ナフサ由来の接着剤などを大量に使用するねぶた制作への影響も憂慮し、供給不安の払拭を赤澤大臣に求めました。大臣からは「ねぶた祭は青森の大切な文化であり元気の源だ。準備に支障が出ないよう全力で取り組む。」と答弁がありました。▶「産業競争力強化法」についての審議では、地域共生が求められるデータセンターの立地に当たり、法整備やガイドラインの必要性を質問しました。また、産業クラスター形成へ向けて青森県が名乗りを上げているGX戦略地域制度については、青森県が認定されることを期待し、効果的な地方活性化策となるよう要請しました。



Report 5/27【国際問題に関する調査会】

ヨーロッパが直面する課題と、日本外交のあり方は!?



欧州の右派ポピュリスト政党には、対ウクライナ支援に消極的な傾向もみられる中、欧州内の政治分断が対ロ制裁網を弱体化させるリスクについて、外交有識者へご意見を伺いました。更に日本がEUとの連携を維持、強化する上での課題についてもお尋ねしました。有識者からは、あくまでも日本は「国際秩序の基本的な理念と自由、民主主義を軸に、国際法の遵守を共通項として対峙していくことを守るべき」とのお答えがありました。

また、欧州のエネルギー政策と日本の外交手段のあり方についても質問。脱炭素化や自然エネルギーへの転換など、「欧州の動きや全体の流れを見ながら、日本も機敏に対応していくことが求められる。」との見解が示されました。



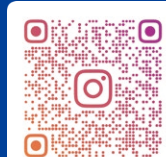
Profile プロフィール

1965年3月24日生まれ、五所川原市金木町出身、東北町立寒水小学校(現 東北小学校)、平内町立小湊中学校、青森県立青森高等学校(33回生)、日本大学法学部新聞学科(牧田ゼミ)
(株)青森テレビATV(アナウンサー/報道記者/プロデューサー)
(株)BLUE LINK PROJECT(「あおり藍」を活用した商品開発・販売)

公式HP



Instagram



FUKUSHI_MASUMI

福士ますみ事務所
〒030-0822 青森県青森市中央1丁目5番1号 中央1丁目ビル2階
tel. 017-718-8512 / fax.017-718-8513
e-mail fukushimasumi.office@gmail.com
東京事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1102号
tel. 03-6550-1102 / fax.03-6551-1102

あおり
愛



6/11【経済産業委員会】

再処理工場完成に一步前進!? 青森の研究開発の課題は!?



6/8六ヶ所再処理工場完成に向けた原子力規制委員会審査会合で日本原燃からの説明が終了。認可取得に向けて進展したことを受け、これから青森県に国として何か働きかけをするべきではないかと赤澤大臣に問いました。赤澤大臣は「竣工への重要な進展」として歓迎の意を示し、「国としても再処理工場に対する官民総力での取り組みとその進捗を(宮下)知事に伝えることが重要」と答えました。▶ 続いて「産業技術力強化法」審議では、むつ市の企業が取り組んでいるホタテ貝殻残渣を利用したゴミ袋の開発や八戸高専の研究活動を紹介し、産学連携や人材育成、地域経済活性化へ向けた課題について質問。「大企業/中小企業」と「大都市/地方」で二重の偏りが生じる研究開発税制や地域格差の是正の必要性も求めました。



6/12【防災庁設置法案】質疑

災害情報のあり方は!? ふるさと防災職員の活動とは!?

クマの出没が頻発し、出没情報のデマも問題になっていることを受け、正確な災害情報発信のあり方や伝達手段の多様化など、政府の取り組みを質問しました。

また、自然災害と原子力災害などの複合災害が起きた場合、避難方法や現場初動対応が混乱しないよう、指揮系統や国と自治体との連携体制のあり方をしっかり整えてもらいたいと要望。牧野担当大臣からは、避難指針の周知伝達や想定訓練を徹底するなどして連携を深めていくとの答弁がありました。▶ 昨年4月からスタートしたふるさと防災職員制度。昨冬発生した青森県東方沖地震時にもふるさと防災職員は派遣されました。被災自治体では、自らが被災者となりながらも避難住民の救護や対応に追われ、心身の負担が大きいことも課題ですが、ふるさと防災職員はこういった自治体の業務負担の軽減や、連絡調整役としての機能も発揮しています。被災地に寄り添う伴走支援を強化するためにも、もっとこの制度を増強してもらいたいと要望しました。



5/17

こだわろう! 暮らしの向上 広げよう! 仲間の輪

連合青森2026春季生活闘争「連合アクション街宣」として、ELM前やシーナシーナ弘前店で街頭活動を行いました。県の最低賃金の底上げ、実質賃金の回復、格差是正による経済の底上げ一働く皆さんが報われる社会をつくるために、全力で訴え続けます。



5/24

志を同じく、 青森の民主政治を前へ

立憲民主党青森県総支部連合会の2026定期大会がアップルパレス青森で開催されました。大会には多くの仲間や支援者の方々が参加し、県連の活動を総括し、互いの成長のための糧とし、青森の民主政治を着実に前へ進めていくことを改めて誓い合いました。

立憲民主党青森県総支部連合会 2026年度定期大会



5/31

母校・日大で講演 「政治を志した原点」

日本大学神田三崎町キャンパスで開かれた日本政治法律学会の春季研究大会で講演する機会をいただきました。一番やりがいのあった報道記者時代の経験や「あおり藍」での起業、それらを経て政治の世界へ踏み出した私の物語を後輩の学生たちにお伝えしました。



Message 福士ますみから皆さまへ

物価の高騰など、暮らしへの不安が広がる今だからこそ、政治が果たすべき役割は重いと感じています。前国会で初めて質疑に立って以来、気付けばこれまで計8回もの質問の機会をいただきました(毎回準備に四苦八苦)。会期も残り1ヶ月となり、7月下旬からは青森へ。地域の隅々まで足を運び、皆さまの本音をしっかりと受け止めたい。机上ではなく現場で。これからも青森の声を拾い、国へと届け続けてまいります。どうぞ、皆さまのお力をお貸しください。



ねぶた制作現場への影響を取材する福士